

The Japanese Association for Humanistic Psychology



# 日本人間性心理学会 第42回大会

プログラム・発表論文集

大会  
テーマ

## 邂逅

～いまここで、わたしと、あなたと、いのちと～

会期

2023年 9月22日(金)～24日(日)

会場

福井AOSSA

6F 地域交流プラザ、8F 福井県民ホール

〒910-0858 福井市手寄141 福井駅東口前

大会準備委員長

坂井 祐円 仁愛大学

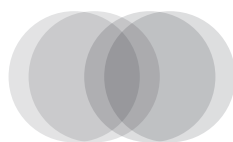
大会事務局長

小室 弘毅 関西大学

本大会のテーマは「邂逅」です。「邂逅」が意味する思いがけない出会いとは、人間同士のこともあるでしょうが、人間以外の生き物との出会いの方がより思いがけない出会いとなるでしょう。それが野生の生き物であり、ましてや海の生き物であればなおさらです。遠い昔に陸から海へと戻っていった哺乳類であるイルカとの出会いは「邂逅」という言葉にふさわしいように思います。遠い昔の仲間に出会うような、それと同時に決定的に分け隔てられてしまった他者と出会うような、そんな両義的な意味が考えられます。オンラインで繋がることを体験してきた私たちが、これからいよいよ本当の意味での他者との「邂逅」を果たし、新しい関係のあり方を模索していく時に来ているのだと思います。

この写真は東京の真南1,000kmのところにある小笠原諸島の海で、野生のイルカと1人の女性との「邂逅」をとらえたものです。30年近く通い続けてはじめて撮れた写真でもあります。写真を撮った私にとっても思いがけない出会い、「邂逅」の瞬間でした。

表紙 写真：小室 弘毅



JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

# 日本人間性心理学会 第42回大会



## 邂逅

～いまここで、わたしと、あなたと、いのちと～

プログラム・発表論文集

会期

2023年9月22日(金)～24日(日)

会場

福井AOSSA

6F 地域交流プラザ、8F 福井県民ホール

〒910-0858 福井市手寄141 福井駅東口前

大会準備委員長

坂井 祐円 仁愛大学

事務局長

小室 弘毅 関西大学

# INDEX

---

ご挨拶	1
日本人間性心理学会第42回大会 開催概要	2
会場へのアクセス	3
会場案内図	4
大会日程	5
参加者の皆さまへのご案内	6
座長の先生方へのご案内	9
口頭発表者へのご案内	10
ポスター発表者へのご案内	11
自主シンポジウム企画者へのご案内	12
大会準備委員会／研修委員会企画 学会奨励賞受賞記念講演一覧	13
ワークショップ一覧	14
自主シンポジウム一覧	15
口頭発表一覧	17
ポスター発表一覧	23
発表論文集	
準備委員会企画シンポジウム	26
準備委員会企画プログラム	28
研修委員会企画プログラム	29
学会奨励賞受賞記念講演	32
ワークショップ	34
自主シンポジウム	42
口頭発表	52
ポスター発表	90
オンデマンド配信のご案内	109
索引	110
大会準備委員会	112
協賛ご芳名・賛助会員	113
日本人間性心理学会 歴代大会一覧表	114

# ご 挨拶

日本人間性心理学会第42回大会

大会準備委員長 坂井 祐円

日本人間性心理学会第42回大会は、対面型による開催となります。これは実に3年ぶりのことです。新型ウィルスのパンデミックが発生する以前には、対面型・オンライン型といった区別も発想すらもなかったわけですが、私たちは大きな時代変化の波を経験することで、コロナ前とはまったく異なった世界を生きていることを実感しています。

本大会の開催場所は、日本海に面した北陸の地、福井県です。JR 福井駅前にある福井 AOSSA において行われます。歴史をみると、越前福井には、京都から逃れてきた宗教者たちが自己洞察と内観を深めていった先に革新的な精神運動を生み出してきた風土があります。今は昔のようですが、ここには人間性心理学が大切にしてきた、自己との出会い、他者との出会い、エンカウンターの出発点があると思います。

対面において人々が集うということ。真の出会いの場として、本大会が開催される意義が開かれていると感じています。そこで、大会のテーマを以下のように掲げました。

## 邂逅

～いまここで、わたしと、あなたと、いのちと～

もちろん、対面だけが出会いの場、邂逅の時ではありません。準備の段階では、オンライン型での開催という可能性もありました。また、プログラムの一部をハイブリッド型で行うことも考えましたが、設備の問題などを考慮して断念しました。

いろいろな形での邂逅があり得ることでしょう。にもかかわらず、わたしとあなたとの邂逅は、いま、ここで、起こることであり、それはいのちにふれること、いのちとの出会いでもあるのだと思います。

邂逅をテーマとする本大会では、皆様との深く豊かな出会いを心から待ち望んでいます。

# 日本人間性心理学会第42回大会 開催概要

テーマ

## 「邂逅 ～いまここで、わたしと、あなたと、いのちと～」

会 期 2023年9月22日(金)・23日(土・祝)・24日(日)

会 場 福井 AOSSA(〒910-0858 福井市手寄1-4-1 福井駅東口前)  
6F 地域交流プラザ 8F 福井県民ホール

主 催 日本人間性心理学会第42回大会準備委員会

代 表 坂井 祐円(仁愛大学)

大会 HP <https://2023.c-jahp.com>

E-mail [2023jhpc@gmail.com](mailto:2023jhpc@gmail.com)

大会日程

9月22日(金)	10:00～16:30	体験型ワークショップ
	17:00～19:00	自主シンポジウム
9月23日(土・祝)	8:50～12:00	口頭発表
	10:00～12:00	準備委員会企画プログラム
	13:00～16:00	準備委員会企画シンポジウム
	16:00～16:50	ポスター発表
	17:00～18:30	懇親会
9月24日(日)	8:50～12:00	口頭発表
	11:00～12:00	学会奨励賞受賞記念講演
	13:00～14:00	総会
	14:30～16:00	研修委員会企画プログラム

(詳細は「大会日程」のページをご覧ください)

協賛団体 仁愛大学、福井県観光連盟コンベンション推進事業部、  
株式会社 木立の文庫、株式会社 春秋社

後援団体 福井県公認心理師・臨床心理士協会、福井県教育委員会、  
福井市教育委員会、日本スピリチュアルケア学会、日本仏教心理学会

# 会場へのアクセス

会 場：AOSSA 福井市手寄1丁目4番1号



## 交通のご案内

■ JR北陸本線「福井駅」東口より徒歩1分

■ 小松空港より約60分

小松空港からJR福井駅までの連絡バスの時刻表、乗り場等詳細については、小松空港又は京福バスのホームページでご確認いただけます。

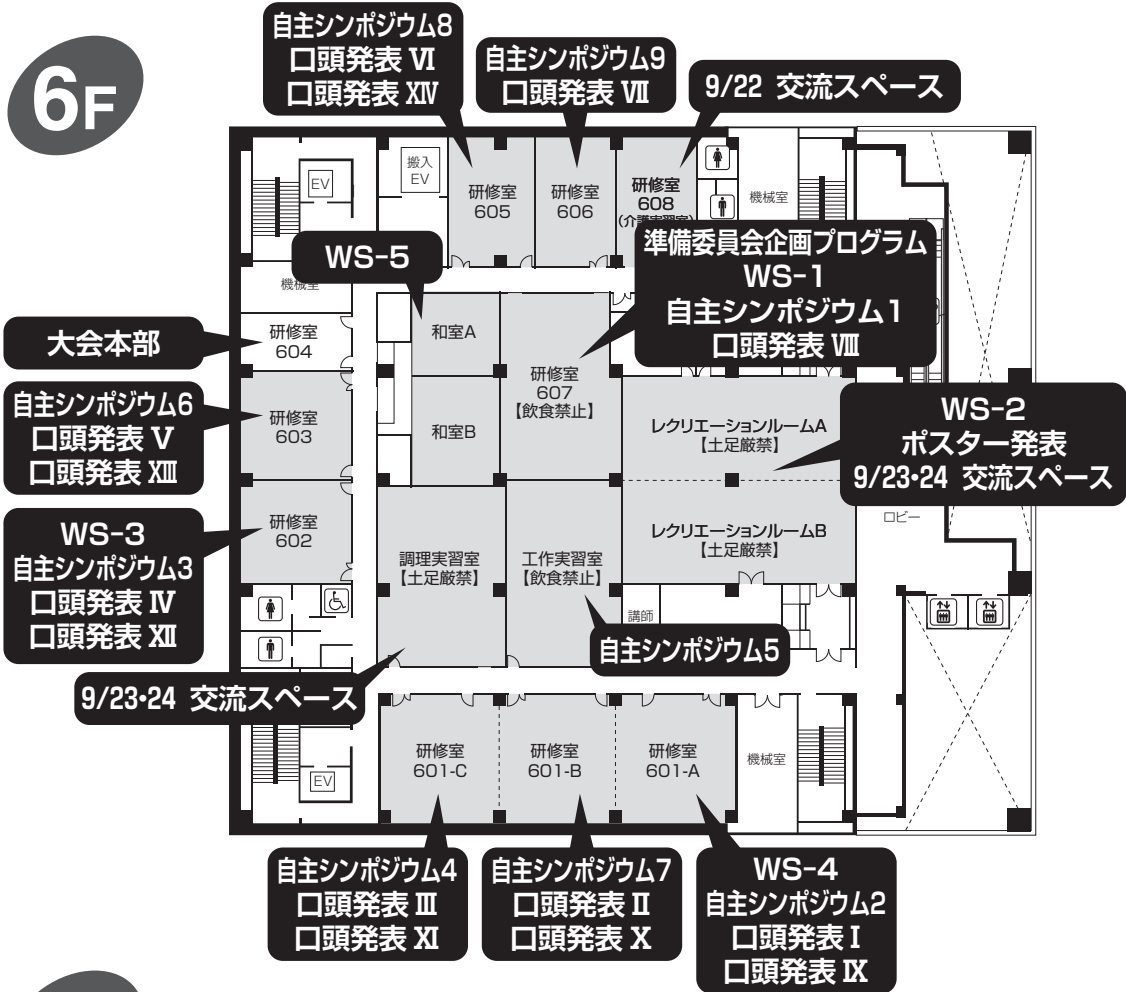
小松空港のホームページ

[http://www.komatsuaairport.jp/komatsusypher/www/access/timetable\\_jr\\_fukui.html](http://www.komatsuaairport.jp/komatsusypher/www/access/timetable_jr_fukui.html)

京福バスのホームページ

<http://bus.keifuku.co.jp/air/komatsu.htm>

# 会場案内図





# 大会日程

**9月22日(金)**

**9月23日(土・祝)**

**9月24日(日)**

8:30		8:30～ 受付	8:30～ 受付
9:00		8:50～12:00	8:50～12:00
	9:30～ 受付	口頭発表 I～VII	口頭発表 VIII～XIV
10:00	10:00～16:30	10:00～12:00	
	大会主催・ 体験型ワークショップ	準備委員会企画 プログラム	
11:00			11:00～12:00 学会奨励賞 受賞記念講演
12:00			12:00～13:00 理事会
13:00		13:00～16:00	13:00～14:00 総会
		準備委員会企画 シンポジウム	
14:00			
15:00			14:30～16:00 研修委員会企画 プログラム
16:00		16:00～16:50 ポスター発表/ 交流スペース解放	
17:00	17:00～19:00	17:00～18:30	
	自主シンポジウム	懇親会	
18:00			
19:00			

## 参加者の皆さまへのご案内

### ■参加受付

9月22日(金)～9月24日(日) 期間中共通

#### 【受付場所】

6階 エレベーター前

#### 【受付開始時間】

9月22日(金) 9:30～  
23日(土・祝) 8:20～  
24日(日) 8:20～

#### 【予約参加の方】 ※ワークショップ、大会ともに、参加証の事前送付はありません。

- ・9月22日(金)ワークショップ当日受付にお立ち寄りください。参加証をお渡しします。
- ・9月23日(土)または24日(日)から大会へ参加の方は、参加初日受付にお立ち寄りください。

#### 【当日参加の方】

- ・必ず受付にて参加手続きをお願いいたします。参加証を受け取ったのち、大会にご参加ください。なお、ワークショップの当日参加は受け付けておりません。

#### 【当日参加費】

- ・大会参加費(論文集1冊分を含む)  
正会員・準会員 10,000円 臨時会員(非会員) 12,000円  
学生会員 5,000円 学生非会員 6,000円

#### 【発表論文集の追加購入】

希望される方は、受付でご購入ください。1冊3,000円です。

### ■懇親会について

【日 時】 9月23日(土・祝) 17:00～18:30

【場 所】 3階 WELL AOSSA

【申し込み】 8月10日(木)までは予約会費です。

〈予約会費〉一般参加者 3,000円 学生参加者 2,000円

#### \*当日参加ご希望の方

9月23日(土・祝)17:00までに、受付(6階 エレベーター前)でお申し込みください。

〈当日会費〉一般参加者 3,500円 学生参加者 2,500円

\*必ず参加証を下げてください。

## ■クローク

必ず、時間内にお引き取りをお願いします。貴重品はお預かりできません。

### 【場 所】

9月22日(金) 6階 調理実習室  
23日(土・祝)・24日(日) 6階 工作実習室

### 【開設時間】

9月22日(金) 9:30～19:15  
23日(土・祝) 8:20～19:15  
24日(日) 8:20～16:15

## ■交流スペース

### 【場 所】

9月22日(金) 6階 608研修室  
23日(土・祝)・24日(日) 6階 調理実習室およびレクリエーションルーム  
3日間を通して開放しております。参加者どうしの交流にお使ください。飲食も可能です。

## ■大会本部

### 【場 所】 6階 604研修室

\*大会スタッフ・大会準備委員が待機しております。何かありましたらお尋ねください。

## ■食事

- \* 6階工作実習室、607研修室は飲食禁止です。
- \* その他の研修室で昼食をとることができます。

## ■お願い

\* 館内は禁煙です。喫煙場所はございません。

## ■書籍販売・展示、観光案内

6階エスカレーター前にて行っております。是非ご利用ください。

## ■その他の注意事項

駐車スペースには限りがございますので、会場まではなるべく公共交通機関をご利用ください。

## ■ 学会総会のご案内

【日 時】 9月24日(日) 13:00～14:00

【場 所】 8階 県民ホール

\* 総会の時間内に学会賞・奨励賞・ロジャーズ賞及び名誉会員の表彰も行われる予定です。

## ■ 臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加証や参加費等の領収証(コピー可)が、大会参加の証明として使用できます。大切に保管して、各自で申請してください。

## ■ 大会事務局の連絡先

日本人間性心理学会 第42回大会準備委員会事務局

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1 仁愛大学人間学部 心理学科 坂井祐円研究室

E-mail : 2023jhpc@gmail.com

大会ウェブサイト : <https://2023.c-jahp.com/>

## ■ 大会特設ページ

大会期間中は、大会ウェブサイトにて大会特設ページを開設します。

サイト上での大会プログラムの閲覧や木立の文庫さんの特設販売が利用できます。

特設ページ閲覧用パスワードは、以下です。

Fukui2023jhpc42

## 座長の先生方へのご案内

### ■進行について

- 座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。事前に発表者と打ち合わせをして、ご自分のスタイルでお役をおつとめください。滞りのない進行をお願いします。
- 担当の研究発表の30分前までに、総合受付の座長受付に必ずお立ち寄りください。出席確認をさせていただきます。その後セッション開始の5分前までに各会場の次座長席に、ご着席ください。
- 時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。
- 発表前に、座長から携帯電話の使用禁止、発表の録音の禁止について、アナウンス、確認をお願いします。
- 時間内に発表が終わるようにご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。
- 諸事情により、万一座長を務めることができなくなった場合には、第42回大会準備委員会事務局(2023jhpc@gmail.com)までご連絡ください。
- 座長の先生方には座長ご担当日に昼食をご用意しております。11:30以降に608研修室にお越しください。

## 口頭発表者へのご案内

### ■発表時間について

- 全ての発表者は、発表時間と発表会場を確認し、遅れないようにしてください。

### ■配布資料について

- 配布資料は必ず自分で作成し、発表日、発表教室、題目、発表者氏名を必ずご記入の上、必要部数を印刷して持ってきてください。
- 配布資料は、開始時に各教室の会場係へお渡しください。
- 事例研究の配布資料は、必ず発表者が回収し、責任をもって処分してください。
- 大会当日のデータ変更・増刷は、事務局では受け付けておりません。なお、館内にはご利用になれるコピー機はありません。

### ■発表機材について

- 発表時にPCを利用される方は、USBメモリ等でデータをお持ちになり、各部屋に備え付けのPC(OSはWindows)をご使用ください。
- 発表時のPC操作は、発表者ご自身で行ってください。
- 発表開始までに、各教室の会場係に発表機材の使用を申し出て、動作確認をしてください。
- 発表機材の動作不良の場合に備えて、配布資料もご用意ください。

### ■座長との打ち合わせ

- 発表者は事前に座長と打ち合わせすることを推奨します。
- 論文集以外に配布資料がある場合は、事前に担当座長に資料をお送りください。

### ■発表取消の場合

不測の事情により発表取消や変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第42回大会準備委員会事務局(2023jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

## ポスター発表者へのご案内

### ■発表方法について

- ポスター発表は、9月23日(土・祝)で、会場はレクリエーションルームです。
- 責任在席時間は50分です。指定された時間の間は、必ずポスター発表会場のポスターの前に待機して、参加者とディスカッションをしてください。指定された時間以外は、在席する義務はありません。
- 演題番号、テープは事務局で用意します。
- 掲示スペース(横120cm×縦180cm)に模造紙一枚(A4またはA3サイズ数枚でも可)でポスターを作成してください。
- 発表会場は24日(日)14:00まで開場しています。

### ■ポスター掲示と撤去

- ポスターは、各自で23日(土・祝)12:00までに貼ってください。
- ポスターは、各自で24日(日)14:00までに撤去してください。撤去されなかった掲示物は、事務局にて処分します。

### ■発表取消の場合

不測の事情により発表取消や変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第42回大会準備委員会事務局(2023jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

# 自主シンポジウム企画者へのご案内

## ■自主シンポジウム企画の基本方針

- 自主シンポジウムに対して大会準備委員会が行うことは、開催の機会となる「場所」を提供することです。運営につきましては各企画者の責任の下で行なってください。
- 企画者は、自主シンポジウム開始時に参加者に対して写真撮影や録画録音などを行わないよう周知してください。
- 企画者が録画を行う場合には、その旨を同時に参加者へアナウンスしてください。

## ■発表機材について

- 会場にあらかじめ備えられている物品は、プロジェクター・HDMI ケーブル、マイク、ホワイトボードとなります。
- 発表時に PC を利用される方は、ご自身で PC をお持ちください。

## ■オンライン配信（ライブ配信・オンデマンド配信）について

- オンライン配信を行われる場合、施設内の Wi-Fi は利用可能ですが、通信速度などの保障はできません。
- 企画者や話題提供者などの登壇者がオンライン参加となる場合、その過半数を超えないようご注意ください。
- オンライン配信を行われる場合も、大会参加費以外の支払いが参加者に必要とならないようにしてください。
- ライブ配信を行われる場合、音声のハウリングなどの問題が生じやすくなります。企画者はできるだけ事前テストを行ってください。
- オンデマンド配信を行われる場合、2023年10月6日（金）までに、動画にアクセスできる URL を大会準備委員会までお知らせください。
- オンデマンド配信を行われる場合、10月上旬から2023年11月24日（金）までが配信期間となりますので、それまでは動画が視聴可能な状態としてください。
- ミーティング URL や動画 URL は、大会参加申込者が大会準備委員会からのメールで知る以外に、外部から不特定多数が知り得、参加や視聴ができるようなシステムは利用しないでください。
- オンラインでの開催を希望される場合は、その性質上セキュリティの観点から事例検討等の個人情報を扱う内容を含む発表は禁止とします。また発表内で臨床素材を扱う場合は、個人情報等に十分配慮した上で、必要な抜粋、改変を行い、倫理的に問題のない範囲で提示してください。
- 自主シンポジウムは大会の一部として企画されるものです。録画データを個人的に別の機会に配信するなどの行為は行わないようにしてください。



# 大会準備委員会／研修委員会企画 学会奨励賞受賞記念講演一覧

## 大会準備委員会企画シンポジウム

概要は p26 に掲載

### 対談 無心の邂逅

日 時：9月23日（土・祝）13:00～16:00

会 場：8階 県民ホール

登壇者：西平 直（上智大学グリーンフ研究所 副所長）×藤田 一照（曹洞宗 僧侶）

司 会：坂井 祐円（仁愛大学 准教授）

小室 弘毅（関西大学 准教授）

## 大会準備委員会企画プログラム

概要は p28 に掲載

### 対話セッション 『プロセスモデル』が開く時空

日 時：9月23日（土・祝）10:00～12:00

会 場：6階 607 研修室

世話人：村里 忠之（宮カウンセリングルーム 村里心理療法研究所）

高橋 寛子（山梨英和大学 教授）

吉良 安之（九州大学 名誉教授）

飯嶋 秀治（九州大学大学院 教授）

森岡 正芳（立命館大学 教授）

末武 康弘（法政大学 教授）

得丸 智子（開智国際大学 教授）

## 研修委員会企画プログラム

概要は p29 に掲載

### サイコロジカル・ファーストエイドについて

日 時：9月24日（日）14:30～16:00

会 場：8階 県民ホール

講 師：押岡 大覚（九州女子大学 人間科学部 教授）

## 奨励賞受賞記念講演

概要は p32 に掲載

### 喪失と邂逅

#### —キルケゴールと中原中也の場合

日 時：9月24日（日）11:00～12:00

会 場：8階 県民ホール

講 師：竹井 夏生（産業技術短期大学 カウンセリングルーム 非常勤講師 ほか）

## ワークショップ一覧

9月22日(金) 10:00~16:30

於：福井 AOSSA

コース	テーマ	講師	会場	ページ
WS-1	フェルトセンス革命とフォーカシング	池見 陽	607	34
WS-2	からだと出会うマインドフルネス	小室 弘毅	レクリエーション ルーム	35
WS-3	内観療法 心身一如のコンセプトと共に	千石 真理	602	36
WS-4	ナラティブアプローチと社会	森岡 正芳	601A	37
WS-5	ベーシックエンカウンターグループ	永野 浩二 本山 智敬	和室 A/B	39

# 自主シンポジウム一覧

9月22日(金) 17:00～19:00

No	タイトル・発表者	会場	ページ
S-01	<p>人間性心理学をもとにした統合的アプローチ・EAMA の実際と魅力(その1) —セッションの実際の視聴—</p> <p>企画・司会・話題提供：諸富 祥彦<sup>1)</sup> 話題提供：折戸 瑛里佳<sup>2)</sup>、小松 賢亮<sup>3)</sup>、土井 淳<sup>4)</sup>、鈴木 定子<sup>5)</sup>、 林 陽子<sup>6)</sup>、金子 英利<sup>7)</sup>、高村 美賀<sup>8)</sup></p> <p>1) 明治大学 文学部、2) NEC ライフキャリア(株)、3) 和光大学 現代人間学部、 4) ネスレ日本(株)、5) 東京メンタルヘルス(株)、6) 学校法人 太陽学院、 7) 元 公立小学校校長、8) カウンセリングルーム・シャンティ</p>	607	42
S-02	<p>パーソン・センタード・セラピーとオープン・ダイアログの邂逅</p> <p>企画者：押江 隆<sup>1)</sup>、浅井 伸彦<sup>2)</sup> シンポジスト：押江 隆<sup>1)</sup>、浅井 伸彦<sup>2)</sup>、大石 英史<sup>3)</sup>、田中 とう子<sup>4)</sup></p> <p>1) 山口大学、2) 一般社団法人国際心理支援協会、3) 宇部フロンティア大学、 4) Toko 心理相談室</p>	601A	43
S-03	<p>「私の臨床」を振り返るセラピスト・センタード・トレーニング体験と語り合い</p> <p>司会：白井 祐浩<sup>1)</sup> 話題提供：白井 祐浩<sup>1)</sup>、北田 朋子<sup>2)</sup>、中山 幸輝<sup>2)</sup>、濱村 星花<sup>3)</sup></p> <p>1) 志學館大学、2) 東亜大学、3) 九州産業大学</p>	602	44
S-04	<p>現代の対人援助職の研修・訓練としての PCAGIP 法の意義</p> <p>○中田 行重<sup>1)</sup>、村山 正治<sup>2)</sup>、藤中 隆久<sup>3)</sup>、南 陽子<sup>4)</sup>、野村 陽子<sup>5)</sup>、 石田 陽彦<sup>1)</sup>、永野 浩二<sup>6)</sup></p> <p>1) 関西大学 人間健康学部、2) 東亜大学大学院 臨床心理学専攻、3) 熊本大学 教育学部、 4) ACCN(オール・キャリコン・ネットワーク)、5) 協立総合病院、 6) 追手門学院大学 心理学部</p>	601C	45
S-05	<p>みんなの表現アート</p> <p>企画・ファシリテーター：松永 佳子<sup>1)</sup>、湯谷 奈緒子<sup>2)</sup></p> <p>1) 愛知学院大学 心理臨床センター、2) 大東文化大学 学生相談室</p>	工作 実習室	46
S-06	<p>人間尊重のありかたを伝えていくために ～PCA のグループ実践からできることを考える～</p> <p>企画・話題提供：野田 諭<sup>1)</sup> 話題提供：大島 利伸<sup>2)</sup>、本山 智敬<sup>3)</sup></p> <p>1) 子ども家庭支援センター「希望館」、2) 南山大学附属小学校、3) 福岡大学 人文学部</p>	603	47
S-07	<p>医療領域におけるフォーカシング指向心理療法の実践</p> <p>企画者：越川 陽介<sup>1)</sup>、小泉 隆平<sup>2)</sup> 司会：越川 陽介<sup>1)</sup> 話題提供者：山崎 暁<sup>3)</sup>、加藤 敬介<sup>4)</sup>、越川 陽介<sup>1)</sup> 指定討論者：池見 陽<sup>5)</sup></p> <p>1) 関西医科大学 精神神経科学講座、2) 近畿大学 総合社会学部、 3) 信州大学 学生相談センター、4) 堀クリニック、5) 関西大学 人間健康学部</p>	601B	48

No	タイトル・発表者	会場	ページ
S-08	<p>教育思想としてのジェンダリン哲学：その展開の可能性</p> <p>企画・司会：岡村 心平<sup>1)</sup></p> <p>話題提供：岡村 心平<sup>1)</sup>、古井戸 祐樹<sup>2)3)</sup></p> <p>指定討論：田中 秀男<sup>4)</sup>、小室 弘毅<sup>5)</sup></p> <p>1) 神戸学院大学 心理学部、2) 早稲田大学大学院 教育学研究科、 3) 日本学術振興会特別研究員 DC2、4) 関西大学、5) 関西大学 人間健康学部</p>	605	49
S-09	<p>いのち教育をめぐる学際的考察</p> <p>—学校教育・心理臨床・人間性心理—</p> <p>司 会：稲垣 応顕<sup>1)</sup></p> <p>話題提供：喜田 裕子<sup>2)</sup>、寺戸 武志<sup>1)</sup>、大野 沙奈恵<sup>3)</sup></p> <p>指定討論：坂井 祐円<sup>4)</sup></p> <p>1) 上越教育大学、2) 富山大学、3) 富山県総合教育センター、4) 仁愛大学</p>	606	50

# 口頭発表一覧

## 口頭発表Ⅰ

9月23日(土・祝)

601A

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-01	ピアで行うセラピスト・フォーカシング —自由に語る体験から見えてくるもの— 矢野 キエ(大阪キリスト教短期大学) ※連名	酒井 久実代	8:50～ 10:20	52
O-02	心理臨床家の Personal Development をめぐる実践 河崎 俊博(京都橘大学 総合心理学部) ※連名	白井 祐浩	10:30～ 12:00	53

## 口頭発表Ⅱ

9月23日(土・祝)

601B

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-03	パーソン・センタード・セラピーの臨床観に関する理論的検討 —学派内の論争を素材として— 並木 崇浩(愛知淑徳大学 学生相談室) ※連名	土井 晶子	8:50～ 10:20	54
O-04	PCAの源流について検討(2) 正木正及び京都大学グループによる ロジャーズ理論のわが国への展開をめぐって 児玉 龍治(龍谷大学)	中田 行重	10:30～ 12:00	55

## 口頭発表Ⅲ

9月23日(土・祝)

601C

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-05	心理士が自分の経験を物語ることの意味 —親との死別・離別、 相対的貧困のライフストーリー・レビュー— 井内 かおる(福岡市子ども総合相談センター) ※連名	金子 周平	8:50～ 10:20	56
O-06	離島における心理支援の可能性 ～希死念慮がみられた女子中学生を 支援ネットワークを駆使して支えた事例～ 奥田 綾子(日本赤十字九州国際看護大学 学生相談室)	野村 陽子	10:30～ 12:00	57

## 口頭発表Ⅳ

9月23日(土・祝)

602

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-07	雑念が生じる目的とその活かし方に関する考察 土江 正司(一心塾カウンセリングルーム)	廣瀬 幸市	8:50～ 9:50	58
O-08	子どもの発達における将来の有限性の問題 —ハイデガー〈死への存在〉から臨床教育学への問い 森 七恵(京都精華大学)	西村 則昭	9:55～ 10:55	59
O-09	現代現存在分析と精神分析的無意識概念 赤木 裕昭(無所属)	西村 則昭	11:00～ 12:00	60

## 口頭発表Ⅴ

9月23日(土・祝)

603

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-10	自傷行為を行った大学生への危機介入における カウンセラーの抱え込み 山口 雄介(日本経済大学 経済学部 経営法学科)	石倉 篤	8:50～ 9:50	61
O-11	共感性不全家庭に育った女子生徒が 自身で内的生活史を築くまで ～愛情を実感することを契機として～ 各務 秀昭(児童養護施設 誠心寮、元 岐阜県スクールカウンセラー)	中地 展生	9:55～ 10:55	62
O-12	「親の信仰と葛藤する子」との関わりにおいて 非指示的な他者の存在がもたらす意味 坂岡 大路(特定医療法人 さっぽろ悠心の郷)	並木 崇浩	11:00～ 12:00	63

## 口頭発表Ⅵ

9月23日(土・祝)

605

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-13	青年期後期の母娘関係における心理的距離 藪下 ひろみ(龍谷大学大学院 文学研究科 臨床心理学専攻) ※連名	越川 陽介	8:50～ 9:50	64
O-14	青年期における“絵本”についての語りと自己の物語 松永 郁香(九州大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻 臨床心理学指導研究コース)	榎本 光邦	9:55～ 10:55	65
O-15	遺族が死別経験と死者の夢を語ることの意味 —意味の再構成に着目して— 飯田 千尋(あわら児童家庭支援センター)	高松 里	11:00～ 12:00	66

## 口頭発表Ⅶ

9月23日(土・祝)

606

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-16	大学生における孤独感、被受容感、被拒絶感が 援助要請意図に及ぼす影響 吉井 千尋(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学専攻) ※連名	松下 智子	8:50～ 9:50	67
O-17	大学生における随伴性自尊感情とソーシャルスキルの 関連について 山川 日菜多(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学専攻) ※連名	押江 隆	9:55～ 10:55	68
O-18	大学生のインターネット依存傾向に 孤独感及び主体性が与える影響 鈴木 諒(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学専攻) ※連名	森 俊之	11:00～ 12:00	69

## 口頭発表Ⅷ

9月24日(日)

607

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-19	フォーカシング指向心理療法とは如何なる療法か、 そしてそれを補うのは何か 池見 陽(関西大学 人間健康学部)	永野 浩二	8:50～ 10:20	70
O-20	持続可能なフォーカシング体験室をめざして —10年以上続く京都フォーカシング体験室の取り組み— 内田 利広(龍谷大学) ※連名	田村 隆一	10:30～ 12:00	71

## 口頭発表Ⅸ

9月24日(日)

601A

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-21	「ハーバート・ブライアンの事例」(Rogers, 1942) キリスト教の観点からの検討 —創作仮名の意味— 泉野 淳子(専修大学 人文科学研究所)	大石 英史	8:50～ 10:20	72
O-22	旅の経験を言語化する —スペイン巡礼路(800km)をなぜ歩くのか— 高松 里(NPO ライフストーリー・バンク) ※連名	法眼 裕子	10:30～ 12:00	73

## 口頭発表Ⅹ

9月24日(日)

601B

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-23	不登校問題を考えるⅪ —意欲発現の視点— 寺田 道夫(東海学院大学)	伊藤 義美	8:50～ 10:20	74
O-24	「多声的来談者中心療法」としての ナラティブ・アプローチ —対一の面接で(も)活用できる多声化実践— 田代 順(ナラティブ・アプローチ研究室)	本山 智敬	10:30～ 12:00	75



## 口頭発表 XI

9月24日(日)

601C

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-25	パーソン・センタード・セラピーの立場からみた オープン・ダイアログの一事例 押江 隆(山口大学) ※連名	松本 剛	8:50～ 9:50	76
O-26	Tグループスタッフの自己受容への道のり —Tグループ体験と地域での暮らしの過程に着目して— 石倉 篤(東京未来大学)	久羽 康	9:55～ 10:55	77
O-27	日常的なフォーカシング的態度と 過敏型自己愛傾向を有する人の幸福感との関連 吉井 真也(九州産業大学大学院 国際文化研究科 国際文化専攻 臨床心理学研究分野 博士後期課程) ※連名	福盛 英明	11:00～ 12:00	78

## 口頭発表 XII

9月24日(日)

602

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-28	大学生における反すうと抑うつとの関連 —援助要請スタイルごとの検討— 清原 大和(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理学専攻) ※連名	森 俊之	8:50～ 9:50	79
O-29	「むなしさ」から「自分らしく生きること」へ 伊藤 百絵(仁愛大学大学院 人間学研究科 臨床心理学専攻) ※連名	矢野 キエ	9:55～ 10:55	80
O-30	母親の養育態度と友人関係における過剰適応の関係 —大学生サンプルにおける検討— 久保 知也(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理学専攻) ※連名	青木 剛	11:00～ 12:00	81

### 口頭発表 XIII

9月24日(日)

603

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-31	<p>カウンセラー養成のための「監督実習」プログラムについて                      兵頭 孝子(セルフ《自立》カウンセリング研究所、                      一般社団法人 全日本カウンセリング協議会)</p>	宮田 周平	8:50～ 9:50	82
O-32	<p>NVC (Nonviolent Communication) がもたらす「一致」                      水野 節子(日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科)</p>	水野 行範	9:55～ 10:55	83
O-33	<p>心理臨床家の経験と知識のつながり                      山名 ありさ(東亜大学大学院 総合学術研究科 臨床心理学専攻) ※連名</p>	戸田 弘子	11:00～ 12:00	84

### 口頭発表 XIV

9月24日(日)

605

No	タイトル・発表者	座長	時間	ページ
O-34	<p>能楽「清経」と楽劇「ガラシャ」(笠谷和比古作)の                      自死の比較考察                      上村 敏文(ルーテル学院大学) ※連名</p>	竹井 夏生	8:50～ 9:50	85
O-35	<p>「結果」を求めた選手のアスリート・センタード・                      コーチング体験とその評価：あるバレー経験者の語りから                      恒松 聡一郎(九州大学 人間環境学府)</p>	板東 充彦	9:55～ 10:55	86
O-36	<p>スクールカウンセリングにおける                      身体症状を主訴とした中学生との面接過程                      寺口 大(佛教大学 教育学部 臨床心理学科)</p>	橋本 忠行	11:00～ 12:00	87

## ポスター発表一覧

9月23日(土・祝) 16:00～16:50

レクリエーションルーム

No	タイトル・発表者	ページ
P-01	ヤングケアラーが担っている役割が本人に与える影響についての文献研究 高橋 悠也(文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻)	90
P-02	手品を用いた援助プログラムについての文献研究 平野 耕太(文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻)	91
P-03	学習面の困難を抱える子どもへの家庭学習支援の効果に関する研究 ～主体性と適応感の観点からの検討～ 阪木 淳子(特定非営利活動法人 九州大学こころとそだちの相談室) ※連名	92
P-04	Person-Centered Approach と社会正義を巡る議論に関する論点の概観 井出 智博(北海道大学大学院 教育学研究院 臨床心理学講座) ※連名	93
P-05	就職活動生の自己探索による気づきに関するプロセス研究 ～メタ認知的観点からの検討～ 赤木 佳苗(福岡・みずまき 母と子の心療所) ※連名	94
P-06	被災地における中長期的支援としての ひきこもり当事者その家族に対するコミュニティアプローチ 高橋 紀子(南相馬ひきこもり支援センター) ※連名	95
P-07	留学生はどのような感情作業をしているのか —インタビューの質的研究によるカテゴリー生成— 大塚 弥生(南山大学 教職センター・法学部) ※連名	96
P-08	臨床現場で働く心理職のやりがいと課題(1) 保健医療領域の検討 高橋 大樹(独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センター) ※連名	97
P-09	臨床現場で働く心理職のやりがいと課題(2) 教育領域の検討 神野 文(九州大学 人間環境学研究院) ※連名	98
P-10	臨床現場で働く心理職のやりがいと課題(3) 司法・犯罪領域の検討 山口 勇弥(九州女子大学 人間科学部) ※連名	99
P-11	効果的なハラスメント研修の検討 —グループワーク形式と講義形式の比較— 神野 文(九州大学 ハラスメント対策推進室)	100
P-12	IFC を用いた面接の深さとフォーカシング的態度の関連性 今井 紀恵(川村学園女子大学大学院 人文科学研究科 心理学専攻 臨床心理学領域) ※連名	101

No	タイトル・発表者	ページ
P-13	パーソン・センタードの態度得点の高いセラピストから見たクライアントの変化 上西 裕之(大阪大谷大学) ※連名	102
P-14	他者からの吐きに対する過度な恐怖心と 叱られ経験の頻度・叱られた際のフォロー経験との関連 西宇 里奈(九州産業大学 国際文化研究科 臨床心理学研究分野)	103
P-15	宗教二世と親・宗教との関係 ～適切な関係構築について～ 久富 由賀(九州産業大学大学院)	104
P-16	EXP スケールの段階に関連する音声情報の研究 —文献からの検討とアクションリサーチによる仮説生成— 福盛 英明(九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター) ※連名	105
P-17	「生きづらさ」の主観的体験に関する研究 —インタビュー調査の結果から— 松崎 洋子(九州産業大学大学院 国際文化研究科 国際文化専攻 臨床心理研究分野) ※連名	106
P-18	傾聴実習における“あじわい”に着目した「聴く」ことの検討 熊谷 萌(九州大学大学院 人間環境学府 実践臨床心理学専攻)	107
P-19	青年期の状況に応じた切替傾向が適応感に及ぼす影響 —被異質視不安に着目して— 善光 彩香(文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻)	108

**準備委員会企画  
研修委員会企画**

# 準備委員会企画シンポジウム

対談

## 無心の邂逅

西平直 × 藤田一照

(上智大学グリーン研究所 副所長)

(曹洞宗 僧侶)

日時：9月23日(土・祝) 13:00～16:00

会場：8F 福井県民ホール

司会：坂井 祐円(仁愛大学 准教授)

小室 弘毅(関西大学 准教授)

### 【企画要旨】

日本人間性心理学会第42回大会のテーマは「邂逅～いまここで、わたしと、あなたと、いのちと～」です。それを受け、準備委員会企画シンポジウムのタイトルは「無心の邂逅」としました。「邂逅」には「思いがけず」というニュアンスが含まれています。予定されていた出会いではなく、思いがけず出会ってしまう、出会ってしまったという偶然性と、さらにはその偶然が運命とも必然とも感じられるような両義的な意味をもちます。そしてそのような「邂逅」が起こるためには作為を離れた「無心」が必要になります。「思いがけず」は「無心」だからこそ可能になるのです。計画性や合理性といった作為の心を離れ、「無心」であるからこそ、作為の心には「思いがけず」と感じられる偶然の出会いが起こります。同時に「無心」の心にとってそれは必然の出来事です。そのような「無心」と「邂逅」について、お二人の講師の先生にご登壇いただき、闊達自在に語りあっていただきたいと思います。

登壇者のお一人、西平直先生は『無心のダイナミズム』を著し、いかにしたら無心になれるかを探求されています。一方の藤田一照さんは現在流行中のマインドフルネスに対して禅の立場から「無心のマインドフルネス」を提唱されています。お二人の「無心」がどのように「邂逅」するのか、それが参加される皆さまに波及し、どのような新たな「邂逅」を生み出していくのか、準備委員会としては楽しみでしかありません。偶然が運命となる「邂逅」の目撃者として、さらにはそこに巻き込まれる「邂逅」の当事者として、参加者の皆さまが思いがけない出会いをしていただける場となることを願っております。



### 西平 直

上智大学グリーンケア研究所 (副所長・特任教授)

京都大学名誉教授

心理・教育・宗教にまたがる思想、最も広い意味における「哲学」を学んできました。例えば、1) ライフサイクル、とりわけ、日本の自己形成 (self-cultivation)。2) ケア、とりわけ、グリーンケア・スピリチュアルケア。3) 精神分析、あるいは、深層心理学。4) 東洋哲学、とりわけ、井筒俊彦の東洋哲学。並行してブータン王国のフィールドワークも継続中。例えば、伝統行事に潜む「コンパッション (慈悲・悲しみ)」、「生きとし生けるものを身内とする感覚」、「well-being と contentment との関連」など。学んでみたいことばかりです。



### 藤田 一照

曹洞宗僧侶

1954年愛媛県生まれ。東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程を中途退学し、曹洞宗の禅道場安泰寺に入山、曹洞宗僧侶となる。1987年よりアメリカ合衆国マサチューセッツ州西部にある禅堂に住持として渡米、近隣の大学や仏教瞑想センターでも禅の講義や坐禅指導を行う。2005年に帰国。2010年から2018年まで、サンフランシスコにある曹洞宗国際センター所長。神奈川県葉山町にて慣例に捉われない独自の坐禅会を主宰している。Facebook 上で松籟学舎一照塾を主宰。

日本人間性心理学会 第42回大会  
プログラム・発表論文集

---

大会準備委員長：坂井 祐円

日本人間性心理学会 第42回大会準備委員会 事務局：  
仁愛大学 人間学部 心理学科 坂井祐円研究室  
〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1  
E-mail：2023jhpc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>





©Hiroki Komuro

日本人間性心理学会第42回大会 準備委員会事務局

仁愛大学 人間学部心理学科 坂井祐円研究室

〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

E-mail: 2023jhpc@gmail.com